

## 4 評価の在り方

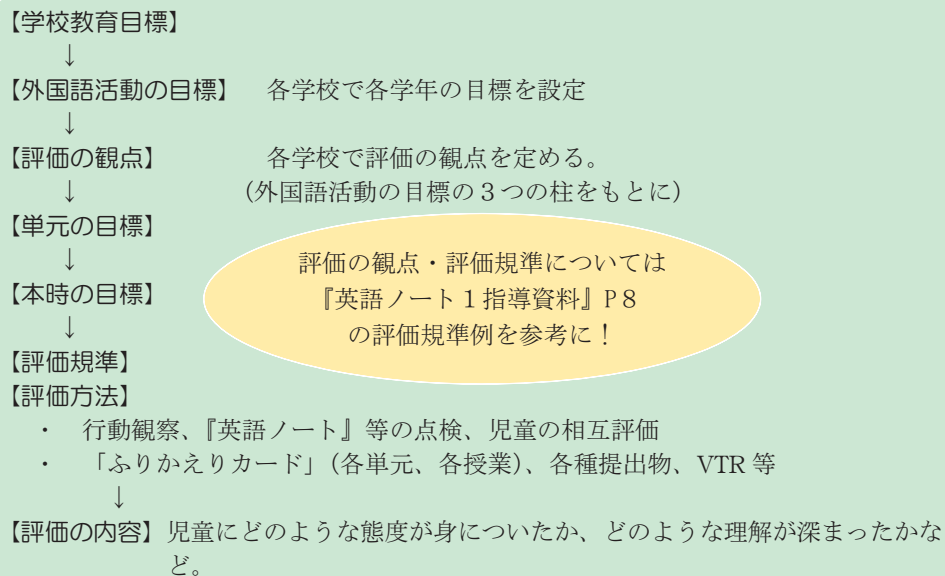
外国語活動の評価は、次のように考えましょう。

### (1) 評価の基本的な考え方

- ① 目標の3つの柱に基づいて行います。
    - ・ 言語や文化について体験的に理解を深める。
    - ・ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を身につける。
    - ・ 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
  - ② 数値による評価は行いません。 → 児童の情意面・態度面の状況等が把握できるよう文章で表記します。
  - ③ 評価方法
    - ・ 行動観察・発表観察・『英語ノート』の点検
    - ・ 児童による自己評価・相互評価、「ふりかえりカード」
    - ・ 児童が発表の仕方や目標を自ら設定して、教師、児童同士が評価 等
- \* 「～しようとしている」「～をしている」といったプロセスを評価し、「～ができる」「～ができない」といった表現の定着やスキルのみでの評価にならないよう特に留意する必要があります。
- \* TT 場合には、ALT 等の感想・意見も参考にしてみてください。

主に、児童の情意面、態度面について、肯定的な評価を行いましょう。

### (2) 評価の進め方



まずは、目標の三つの柱に基づいた評価の観点について、学校内で共通理解を図りましょう。

評価は、児童の活動状況を評価するだけでなく、教師自らが指導を振り返る指標ともなります。

↓ 記録を残す

指導要録

#### \* 移行措置期間中の取扱い

各学校で評価の観点を定めて、評価を文章で記述する欄を設けたり、総合的な学習の時間の欄を分割したりして記述します。また、顕著な場合は、総合所見及び指導上参考となる諸事項を記録する欄に所見を記述します。

(3) 『英語ノート』を活用した評価規準例

第5学年 評価規準表

(『英語ノート1指導資料』P8 参照)

目 標	柱	評価規準例	単元	評価方法
外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。	① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。	・マナーを守り、積極的に挨拶をする。	L1	行動観察
		・様々な数え方のジェスチャーがあることに興味をもって指導者の話を聞こうとする。	L3	行動観察 『英語ノート』 観察
		・様々な数え方があることに興味を持ち、進んで指導者の話を聞く。	L3	行動観察
		・世界には様々な衣服があることを理解する。	L5	行動観察
		・漢字の読み方を考える活動を通して、漢字の成り立ちの面白さに気づく。	L7	行動観察
		・ALTの母校や、中国、オーストラリアなど外国の小学校で、どのような教科が学習されているのかに興味をもって聞く。	L8	行動観察
		・日本と外国とでは、朝食に主に食べるものが違うことに気づく。	L9	行動観察
	② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。	・積極的に様々な挨拶を言おうとしている。	L1	行動観察
		・自分から進んで相手と挨拶をし、名刺を交換する。	L1	行動観察
		・進んでジェスチャーを付けて、挨拶をしようとする。	L2	行動観察
		・自分の様子をジェスチャーを付けて、相手に伝える。	L2	行動観察
		・自分の好きなものを含めて自己紹介をしようとする。	L4	行動観察
		・好みをはっきり言い、自分のほしい衣服をもらう。	L5	行動観察 用紙点検
		・1対1で質問された際に、自分の思いを伝えようとしている。	L5	行動観察
	③ 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。	・1から10の数をしっかり言いながら進んで歌おうとする。	L3	行動観察
		・20までの数を聞いたり言ったりして、積極的にゲームに参加している。	L3	行動観察
		・友達に好き嫌いを尋ねる。	L4	行動観察 『英語ノート』 観察
		・自分の買った服を紹介する。	L5	行動観察
		・自分の欲しい食べ物をメニューから選んで答える。	L6	発表観察
		・自分の作ったパフェをクイズ形式で紹介する。	L6	発表観察
		・“What's this?”という表現を使い、相手に質問する。	L7	行動観察
	・自分たちの作成した時間割を発表する。	L8	行動観察	
	・食べ物や料理を表す語を理解して言う。	L9	行動観察	

\* 児童の積極的にコミュニケーションをとろうとする態度や課題を見つけて考えようとする態度などが評価の対象となります。

「～しようとしている」「～をしている」といったプロセスを評価し、「～ができる」「～ができない」といった表現の定着やスキルのみでの評価にならないよう特に留意する必要があります。

